

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年07月06日

計画の名称	倉吉打吹地区における住環境の整備とまちなみの保存・活用の推進												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	倉吉市												
計画の目標	商業の郊外化に伴い、地区の商業の停滞、人口の空洞化、高齢化が進み歴史ある街なみも空き家、空き地が年々増加し、住環境の問題に対し地区内の街なみに配慮し、倉吉打吹地区特有の文化、かおり、水、緑の要素を取り入れ、先人たちが築き上げた町をよみがえらせ、往時をしのばせる生活感あふれる町として、潤いと安らぎのある住環境の整備を行いながら、これらを活用するまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	135	A	125	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	7.4	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	修景整備の実施による交流人口の増加 目標とする修景整備実施により、施設利用人数に対して実際に利用した人数から算出する 施設の利用人数 = 倉吉淀屋付属屋の利用人数を実績人数として調査	840人	900人	960人
2	空き家の有効活用件数の増加による地域の活性化 目標とする空き家利用件数に対して実際に利用した件数から算出する 空き家の有効活用率(%) = 空き家利用件数/H28現在の空き家件数	66%	71%	76%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	倉吉市	直接	倉吉市	—	—	倉吉打吹地区街なみ環境 整備事業	住宅等の修景整備・倉吉淀屋 付属屋の整備	倉吉市	■	■	■	■	■	125	—	
												小計						125	
											合計						125		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	倉吉市	間接	個人	—	—	チャレンジショップ設置 運営事業	家賃補助	倉吉市	■	■	■	■	■	2	—	
		街なみ環境整備事業と一体的に実施し、空き店舗の活用を促進し中心市街地の活性化を図る。																	
	C16-002	住宅	一般	倉吉市	間接	個人	—	—	にぎわいのある商店街づ くり事業	家賃補助、改装費の補助	倉吉市	■	■	■	■	■	8	—	
		街なみ環境整備事業と一体的に実施し、空き店舗の活用を促進し中心市街地の活性化を図る。																	
											小計						10		
											合計						10		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>事業担当課にて数値目標の達成状況を確認検証し関係各課に意見を求めた。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和3年度</p> <p>公表の方法</p> <p>市公式ホームページ</p>
--	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>・本区域内に数多く残る町屋など、伝統的な建造物が持つ様式を参考に住宅修景整備を行い、歴史的情緒を活かした地域特有の景観が続く良好なまちなみ形成が図られ、魅力度が向上した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

<p>・次期計画(令和3年度~令和7年度)により継続して事業（修景整備・家賃補助・改装費の補助）を行い、魅力あるまちづくりの推進と交流人口の増加につなげる</p>

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	施設（倉吉淀屋付属屋）の利用人数（人）	
	最終目標値	960人
	最終実績値	1343人
2	空き家の有効活率（％）	
	最終目標値	76%
	最終実績値	79%